

- 問1 あるパン屋において、これまで1,000円で8個買うことができたパンが、社会全体の物価上昇の影響を受けて1個あたりの価格が2倍になったとします。このとき、同じ1,000円で買うことができるパンの個数と、お金の価値の変化について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は上昇した。

2. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は上昇した。

3. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。

4. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は下落した。
- 問2 現代の経済における資金の調達方法のうち、「直接金融」の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中の金融機関と国債などを売買し、通貨量を調整する。

2. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。

3. 銀行などの金融機関が、預金者から預かった資金を企業に貸し出す。

4. 政府が国債を発行し、公共事業を行うための資金を調達する。
- 問3 現代の経済における企業の資金調達方法のうち、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み

2. 政府が国民から徴収した税金をもとに、道路や公園などの公共施設を整備する仕組み

3. 銀行などの金融機関が家計から集めた預金を、資金を必要とする企業に対して融資する仕組み

4. 日本銀行が市中銀行との間で国債などを売買し、世の中に回る通貨の量を調整する仕組み
- 問4 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。

2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。

3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。

4. 日本政府が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。
- 問5 2024年度から導入された新一万円札の肖像には、かつて「日本資本主義の父」と呼ばれ、日本最初の国立銀行を設立した人物が採用されました。この人物は誰ですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 岩崎弥太郎

2. 福沢諭吉

3. 津田梅子

4. 渋沢栄一
- 問6 日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売買することによって市場の通貨量を調節し、景気や物価を安定させる政策の名称を答えなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 財政投融资

2. 所得再分配

3. 預金準備率操作

4. 公開市場操作
- 問7 景気が過熱し、物価が上がりすぎるおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。

2. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。

3. 所得税の税率を引き下げることで、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。

4. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。
- 問8 金融の仕組みにおいて、銀行を通じた融資（間接金融）と比較した際の「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために特定の企業へ配分する仕組みである。

2. 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。

3. 投資家が銀行に預けた預金が、銀行の判断によって特定の企業へ貸し出される仕組みである。

4. 銀行が倒産した場合でも、企業への資金供給が止まらない仕組みである。
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行が、国内で唯一、日本銀行券（紙幣）を発行できる独占的な権限を持っていることを指す役割として、適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 政府の銀行

2. 銀行の銀行

3. 発券銀行

4. 管理通貨制度
- 問10 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 発券銀行

2. 市中銀行

3. 銀行の銀行

4. 政府の銀行
- 問11 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。

2. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。

3. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。

4. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。
- 問12 2010年以降、日本銀行は世の中に流通する通貨の量を急激に増やす政策を続けています。このように通貨の供給量を増やすことで、経済にどのような変化をもたらそうとしているか、その目的として最も適切なものを選択してください。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 企業の利益を減らして労働者の賃金を強制的に引き上げ、所得の格差を解消すること

2. 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること

3. 市場の通貨量を減らすことで円の価値を高め、輸入品の価格を大幅に引き下げること

4. 物価が上がり続けるインフレーションを抑え、物価を下落させることで国民の生活を安定させること
- 問13 日本銀行は、景気が過熱して物価が急激に上昇するインフレーションを抑える必要があるとき、金融政策を実施します。このとき、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う具体的な行動とその仕組みの説明として、適切なものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 電気料金やガス料金などの公共料金の認可を差し止め、物価を抑制する

2. 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす

3. 日本銀行の窓口で一般市民に直接、低金利で資金を貸し出し、購買力を高める

4. 一般の銀行から国債などの有価証券を買い入れ、企業への貸し出しを促進する

答え合わせ・解説

問1	答え 3 パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。	物価が2倍になると、1,000円という同じ金額で手に入れられる商品の量は半分（この場合は8個から4個）に減少します。このように、同じ金額を支払っても以前より少ない量の商品しか買えなくなる状態は、お金が持っている「物を買う力（購買力）」が弱まったことを意味するため、お金の価値は下落したと判断します。
問2	答え 2 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。	直接金融は、資金の受け手である企業と、資金の出し手である投資家が、証券市場を介して直接結びつく仕組みです。選択肢にある銀行を通じた貸し出しは「間接金融」、日本銀行による操作は「金融政策（公開市場操作）」に該当し、それぞれ目的や仕組みが異なります。
問3	答え 1 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と受け手（企業）が、銀行などを介さずに証券市場という場を通じて直接結びつくことが特徴です。選択肢にある銀行が預金を貸し出す仕組みは「間接金融」、日本銀行が行うのは「公開市場操作（金融政策）」、政府が行うのは「財政政策」にあたります。
問4	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネースtock）の供給が絞り込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問5	答え 4 渋沢栄一	渋沢栄一は明治時代に第一国立銀行（現在の銀行の先駆け）を設立したほか、500以上の企業の創立に関わり、日本の近代経済の基礎を築きました。経済活動だけでなく、社会福祉事業にも深く関わった功績から、新紙幣の肖像として選ばれました。なお、当時の「国立銀行」は、現在の「日本銀行（中央銀行）」とは異なり、民間資本による銀行でした。
問6	答え 4 公開市場操作	日本銀行が金融政策の主要な手段として用いるのが公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）です。市場の資金量を直接調整する手法であり、景気が過熱しているときには国債を売る「売りオペレーション」、景気が停滞しているときには国債を買う「買いオペレーション」を行い、経済のバランスを整えます。
問7	答え 2 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問8	答え 2 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。	間接金融では銀行などの金融機関が「仲介者」となって預金者と企業を結びつけますが、直接金融では企業が発行した証券を投資家が選んで購入します。このため、直接金融では資金の出し手がリスクを直接負う代わりに、企業は自らの信用力や事業の魅力に基づいて広範な投資家から資金を集めることが可能になります。
問9	答え 3 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「中央銀行」であり、日本銀行券を発行する独占的な権限を持っています。この役割を「発券銀行」と呼びます。このほか、民間の金融機関を相手に資金の貸し出しなどを行う「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出納などを行う「政府の銀行」としての役割を担っています。
問10	答え 3 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借入れをしたりする場所ではなく、民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。これにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。
問11	答え 2 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることとなります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問12	答え 2 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること	日本銀行が世の中に供給する通貨の量（マネタリーベース）を増やすと、民間銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、経済活動が刺激されます。この政策は、物価が継続的に下落して景気が停滞する「デフレーション」という状態から抜け出すことを最大の目的としています。通貨供給量を増やして金利を下げることで、消費や投資を促し、物価を適度に上昇させるサイクルを作ろうとしています。
問13	答え 2 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす	物価の上昇を抑えるために、日本銀行は市場に出回る通貨の量を減らす「売りオペレーション」を行います。日本銀行が持つ有価証券を銀行に売ること、代金として銀行側の手元資金を吸い上げ、世の中に出回るお金の量を制限し、景気の過熱を和らげます。公共料金の認可は政府が行うものであり、日本銀行の権限ではありません。また、日本銀行は一般市民との直接取引は行いません。

- 問1 間接金融の仕組みにおいて、銀行が預金者に支払う利息よりも、企業などの借り手から受け取る利息を高く設定している目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本銀行による金融政策を反映させ、世の中の通貨量を一定に保つため

2. 預金から貸し出しまでの仲介に伴うコストや、銀行自身の利益を確保するため

3. 企業の株主が受け取る配当金を増やし、直接金融の市場を活性化させるため

4. 預金者が銀行を介さずに企業へ直接投資を行うことを促すため
- 問2 銀行などの金融機関が、家計（個人）から預かった資金を企業などに貸し出す際、受け取る利子（金利）と預金者に支払う利子の関係として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 景気が悪化したときのみ、預金者に支払う利子の方が高くなるように設定される。

2. 貸し出す際の利子と預金者に支払う利子は、常に同額になるように国によって指定されている。

3. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも低く設定されている。

4. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも高く設定されている。
- 問3 日本銀行が景気の停滞している際に行う政策について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。日本銀行が一般の銀行に対して国債を買い入れる「買いオペレーション」を行う場面を想定して答えなさい。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 政府が公共事業への支出を増やすことで、民間の有効需要を作り出し、失業者の減少と景気の回復を図る。

2. 政府が所得税や法人税などの増税を行うことで、過熱した景気を冷やし、物価の安定を図る。

3. 日本銀行が銀行から国債を買い取ることで、銀行が保有する資金量を増やし、金利を下げさせることで経済活動を活発にする。

4. 日本銀行が銀行へ国債を売り出すことで、市場の通貨量を減らし、金利を上げさせることで物価の上昇を抑制する。
- 問4 日本銀行が行う公開市場操作のうち、不景気の時に行われる、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取ることで通貨量を増やし、利下げを促す政策の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 買いオペレーション

2. 売りオペレーション

3. 円高誘導

4. 預金準備率操作
- 問5 日本銀行が不景気の際に「買いオペレーション」を行う目的と、その仕組みとして正しい説明はどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 銀行の保有する資金を減らすことで、過度な設備投資を抑え、景気を安定させるため

2. 政府の借金である国債をすべて買い取ることで、国の財政赤字を解消するため

3. 市場から通貨を回収することで、急激な物価の上昇（インフレーション）を抑制するため

4. 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を向上させるため
- 問6 景気が過熱し、物価が上昇し続けるインフレーションを抑制しようとする際、日本銀行が実施する「公開市場操作」と、それによって生じる社会の変化について正しく述べたものはどれか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い入れ、市場に大量の資金を流すことで、金利を下げて消費や投資を促す。

2. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場の資金を吸収することで、企業への貸し出しを抑制し景気を冷やす。

3. 日本銀行が通貨の発行を一時的に停止し、通貨の価値を強制的に高めることで、輸入製品の価格を下げて物価を安定させる。

4. 政府が所得税の増税や公共事業の削減を行うことで、社会全体の需要を抑え、物価の上昇を食い止める。
- 問7 日本銀行が公開市場操作によって民間銀行から国債を買い取り、市場に流通する通貨量を「増やす」操作を行った場合、その後の金利の変化と経済への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 利子率（金利）が上がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。

2. 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が抑制される。

3. 利子率（金利）が上がり、企業の設備投資や個人の消費が抑制される。

4. 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。
- 問8 近年普及が進んでいる金融と技術を融合させた新たな動きが社会に与える影響について、説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 現金を使わない決済手段が増えることで、金融機関を通じた取引がすべて不要になり日本銀行の役割がなくなります。

2. インターネットを用いた取引に限定されるため、窓口や店舗での金融サービスがすべて廃止され利用者の負担が増加します。

3. 暗号資産などの新しい技術が導入されることで、紙幣や貨幣の発行が完全に廃止され現金取引が禁じられます。

4. 情報通信技術（ICT）を活用することで、振込や決済などの金融サービスをより迅速かつ低コストで利用できるようになります。
- 問9 かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。

2. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。

3. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。

4. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。
- 問10 2008年の世界金融危機（リーマン・ショック）が日本経済に与えた影響を説明したものとして、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 東日本大震災の復興需要によって経済成長率が下支えされ、失業率は低下傾向に転じた。

2. 急激な円高の進行や世界的な需要の減少により、輸出産業が打撃を受けて景気が後退した。

3. 円安が急速に進んだことで輸出企業の利益が増大したが、輸入コストの増大でデフレが進行した。

4. アメリカからの投資資金が日本国内へ大量に流入したため、株価が上昇し製造業が活発化した。
- 問11 日本における唯一の中央銀行であり、一国の金融組織の中核を担う銀行を何といいますか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 信託銀行

2. 日本政策金融公庫

3. ゆうちょ銀行

4. 日本銀行
- 問12 企業や商店が事業資金を確保する際、銀行などの金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を貸し出す仕組みを何といいますか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 直接金融

2. クラウドファンディング

3. 間接金融

4. 株式公開
- 問13 銀行が主な収益を得る仕組みにおいて、預金者に対して支払う利子と、融資先から受け取る利子の関係についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 預金に支払う利子と融資で受け取る利子を常に同額にし、窓口での事務手数料のみを収益とする。

2. 利子のやり取りは行わず、政府から支給される補助金のみを銀行の運営資金とする。

3. 預金に支払う利子の利率を、融資で受け取る利子の利率よりも高く設定し、その差額を収益とする。

4. 融資で受け取る利子の利率を、預金に支払う利子の利率よりも高く設定し、その差額を収益とする。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 預金から貸し出しまでの仲介に伴うコストや、銀行自身の利益を確保するため	銀行は預金者から集めた資金を運用する際、貸出利息と預金利息の差額（利ざや）を得ることで、人件費や店舗の維持費などの運営費用を賄い、利益を出しています。この仕組みがあることで、預金者は企業に直接貸し出すリスクを負わずに、銀行を通じて間接的に資金を供給することが可能になっています。
問2	答え 4 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも高く設定されている。	金融機関は、預金として集めた資金を必要とする人や企業に貸し出す「間接金融」の役割を担っています。この際、貸し出す際の利子（金利）を預金者に支払う利子よりも高く設定することで、その差額を銀行の運営費用や利益としています。この仕組みによって、金融機関は持続的な経営が可能となります。
問3	答え 3 日本銀行が銀行から国債を買い取ることで、銀行が保有する資金量を増やし、金利を下げさせることで経済活動を活発にする。	景気が悪いとき、日本銀行は「買いオペレーション（公開市場操作）」を行います。これは一般の銀行から国債を買い取ることで、代金として現金を供給し、世の中に出回る通貨量を増やす仕組みです。銀行の資金が豊富になれば、企業への貸し出し競争が起き、金利が低下します。その結果、企業は設備投資がしやすくなり、家計も消費を増やしやすくなるため、景気は回復に向かいます。選択肢にある増税や公共事業は「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問4	答え 1 買いオペレーション	景気が停滞している局面では、日本銀行は市場に資金を供給して景気を下支えします。日本銀行が債券市場で国債を「買う」ことで、銀行の手元資金を増やし、世の中全体の通貨量を増大させるこの仕組みを「買いオペレーション」と呼びます。対して、好景気で物価高が懸念される際に行われるのが「売りオペレーション」です。
問5	答え 4 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を向上させるため	買いオペレーションは、日本銀行が代金を支払って国債を買い上げることで、市場（民間金融機関）に資金を供給する仕組みです。市場の通貨量が増えると金利が下がり、企業や個人が銀行からお金を借りやすくなります。その結果、設備投資や消費が刺激され、停滞している景気を向上させる効果が期待されます。
問6	答え 2 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場の資金を吸収することで、企業への貸し出しを抑制し景気を冷やす。	景気が過熱しているとき、日本銀行は市場の通貨量を減らす「売りオペレーション」を行います。日本銀行が持つ国債を民間銀行に売ると、民間銀行から日本銀行へ代金が支払われます。これにより、民間銀行が保有する資金が減るため、企業への貸し出しが減少し、金利が上昇します。結果として、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の安定（景気の鎮静化）が図られます。政府による増税などは「財政政策」であり、中央銀行が行う「金融政策」とは区別する必要があります。
問7	答え 4 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。	市場に流通する通貨の量が増えると、お金の希少価値が下がるため、銀行が資金を貸し出す際の利子率（金利）は低下します。金利が下がれば、企業は事業拡大のための資金を借りやすくなり、個人もローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が活発になり、景気が上向くことが期待されます。
問8	答え 4 情報通信技術（ICT）を活用することで、振込や決済などの金融サービスをより迅速かつ低コストで利用できるようになります。	金融と情報通信技術（ICT）を組み合わせることで、従来の金融機関の窓口に足を運ぶことなく、スマートフォンなどを通じて手軽で迅速な決済や送金などが可能になります。
問9	答え 1 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品や貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問10	答え 2 急激な円高の進行や世界的な需要の減少により、輸出産業が打撃を受けて景気が後退した。	世界金融危機の発生後、投資家が比較的安全とされる円を買ったことで急激な円高が進行しました。これに加え、主要な輸出先である欧米の景気が冷え込んだため、日本の自動車や電気機器などの輸出が大幅に減少しました。その結果、製造業の不振から派遣切りなどの雇用不安が広がり、失業率の上昇やデフレの深刻化といった深刻な景気後退を招きました。東日本大震災が発生したのは、リーマン・ショックから数年後の2011年です。
問11	答え 4 日本銀行	中央銀行は、国の経済が安定するように通貨の量を調節したり、金融システムを維持したりする特別な役割を持つ銀行です。日本では日本銀行がその役割を担っており、一般の個人や企業が直接口座を作ってお金を預けることはできないという点が、民間の銀行（市中銀行）と大きく異なります。
問12	答え 3 間接金融	資金の出し手である預金者と、借り手である企業などの間に銀行が入り、融資という形で資金を仲介する仕組みです。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその資金を運用して企業に貸し出すため、貸し手と借り手が直接取引をしないことが特徴です。
問13	答え 4 融資で受け取る利子の利率を、預金に支払う利子の利率よりも高く設定し、その差額を収益とする。	銀行などの金融機関は、多くの人々から預金として資金を集め、それを必要とする企業などに貸し出します。このとき、貸し出す際の利子（貸出金利）を預金者に支払う利子（預金金利）よりも高く設定することで、その差額（利ざや）を主な利益としています。これにより、銀行は組織を維持し、預金通帳の発行や振り込みといった金融サービスを提供することができます。

- 問1 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。 | 2. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。 | 3. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げて輸出産業を有利にする。 | 4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑制する。 |
|--|--|--|---|
- 問2 政府が実施する財政政策のうち、不況の時期に有効需要を創出し、景気を下支えすることを目的として行われる施策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 日本銀行から国債を買い取り、通貨の流通量を直接減少させる。 | 2. 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。 | 3. 社会保障制度を廃止し、政府による財政支出をゼロにする。 | 4. 公共事業への支出を抑制し、あわせて増税を実施する。 |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問3 日本経済において、物価が持続的に下落するデフレーションが進行している時期の経済状況や政策について述べたものとして、正しい記述はどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 通貨の価値が下がり続ける現象であるため、日本銀行は公開市場操作を通じて市場の通貨量を増やすことで、物価の下落を食い止める。 | 2. 需要が供給を大幅に上回っているために物価が下落しており、日本銀行は通貨量を減らすために「売りオペレーション」を実施する。 | 3. 物価の下落は消費者の購買力を高めて景気を浮揚させるため、政府は増税を行って市場の通貨量を回収し、経済の安定を図る。 | 4. 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。 |
|--|---|--|---|
- 問4 2010年以降、日本銀行は世の中に流通する通貨の量を急激に増やす政策を続けています。このように通貨の供給量を増やすことで、経済にどのような変化をもたらそうとしているか、その目的として最も適切なものを選択してください。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 物価が上がり続けるインフレーションを抑え、物価を下落させることで国民の生活を安定させること | 2. 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること | 3. 企業の利益を減らして労働者の賃金を強制的に引き上げ、所得の格差を解消すること | 4. 市場の通貨量を減らすことで円の価値を高め、輸入品の価格を大幅に引き下げる |
|--|--|---|---|
- 問5 景気変動の波において、企業の生産活動が停滞し失業者が増えるなどの「不景気（不況）」の状態にあるとき、景気を回復させるために実施される政策の組み合わせとして適切なものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 政府が増税を行って消費を抑え、日本銀行が売りオペレーションを行って市場の通貨量を減らす。 | 2. 政府が増税を行って消費を抑え、日本銀行が買いオペレーションを行って市場の通貨量を増やす。 | 3. 政府が公共事業を縮小し、日本銀行が売りオペレーションを行って市場の通貨量を減らす。 | 4. 政府が公共事業を拡大し、日本銀行が買いオペレーションを行って市場の通貨量を増やす。 |
|---|---|--|--|
- 問6 日本銀行は、景気が悪くなった際に世の中に出回るお金の量を増やしたり、景気が過熱した際に抑えたりすることで、物価の安定を図ります。このような中央銀行としての役割に基づいた活動を何と呼びますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 金融政策 | 2. 財政政策 | 3. 所得再分配 | 4. 公開市場操作 |
|---------|---------|----------|-----------|
- 問7 貨幣には、手に入れた所得をすぐには使わず、将来に備えて貯蓄することを可能にする役割があります。この役割を何と呼びますか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 価値の保存 | 2. 価値の尺度 | 3. 支払の猶予 | 4. 交換の手段 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問8 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念がある際、日本銀行が行う「売りオペレーション」の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を増やすことで、金利を低下させる。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を減らすことで、物価の安定を図る。 | 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を増やすことで、景気をさらに刺激する。 |
|---|---|--|--|
- 問9 経済活動において、物と物を直接交換するのではなく貨幣（現金など）を介して取引を行う背景には、どのような利点があるからですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 商品の価値をあえて不明確にすることで、市場における取引の回数を増やすため。 | 2. すべての国民が自給自足の生活に戻ることを促し、地域経済を活性化させるため。 | 3. 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。 | 4. 電子マネーのみに限定して取引を行うことで、商品の価格変動を完全に抑えるため。 |
|--|--|--|---|
- 問10 日本銀行が担う「券券銀行」としての役割と、その目的について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 民間の銀行が資金不足に陥った際に資金を貸し出し、金融システム全体の混乱を未然に防ぐ。 | 2. 日本銀行券を独占的に発行し、景気の状態に合わせて世の中に出回る通貨の量を調整することで、物価の安定を図る。 | 3. 国の税金を預かったり、公共事業などの支払いを行ったりすることで、国の資金（国庫金）を安全に管理する。 | 4. 企業の活動を支援するために株式を直接発行し、投資家から集めた資金を産業の発展に役立てる。 |
|---|--|---|---|
- 問11 企業が直接金融の手段として「株式」と「社債」を発行する場合、その性質の違いに関する説明として正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 株式は企業が倒産した際に優先的に払い戻されるが、社債は企業の所有権を表すため払い戻しの優先順位が最も低い。 | 2. 株式は返済の義務がない資金であり、社債はあらかじめ決められた期限に元本を返済し利子を支払う必要がある資金である。 | 3. 株式は銀行から借り入れた負債のことであり、社債は企業の利益を内部に蓄積したものである。 | 4. 株式を購入した投資家には経営に参加する権利が与えられないが、社債を購入した投資家には株主総会での議決権が与えられる。 |
|--|---|--|---|
- 問12 企業が生産活動を拡大し、得意分野の製品を他国に出荷するなどの事業を行う際、多額の資金が必要になります。このとき、企業が自ら株式や社債を発行し、家計などの投資家から直接、資金を調達する仕組みを何といいますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 間接金融 | 2. 預金準備率 | 3. 公定歩合 | 4. 直接金融 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問13 外国為替相場において、1ドルの価格が100円から110円に変化した状況について、正しい説明はどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 円高の状態であり、石油や天然ガスなどの輸入資源の価格が下がり有利に働く | 2. 円高の状態であり、海外への日本製品の価格競争力が高まり有利に働く | 3. 円安の状態であり、海外旅行に行く日本人にとって旅費が安くなり有利に働く | 4. 円安の状態であり、日本の自動車メーカーなどの輸出企業にとって有利に働く |
|--|-------------------------------------|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。	日本銀行が行う買いオペレーションの主な目的は、市場の通貨量を増やして景気を向上させることにあります。日本銀行が国債を買い入れると、その対価として支払われた現金が民間銀行の資金源となります。銀行の資金に余裕ができると、企業などへの貸出が活発になり、経済活動が活性化します。逆に、国債を売却する売りオペレーションは、景気が過熱している際に通貨量を減らすために行われます。
問2	答え 2 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。	政府が予算を通じて景気を調整することを財政政策といいます。不況時には、道路やダム建設といった公共事業を増やすことで仕事や雇用を生み出すとともに、減税を行って家計が自由に使えるお金を増やすことで、社会全体の消費や投資（有効需要）を刺激する仕組みになっています。
問3	答え 4 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。	デフレーションの状況下では、物価が下がるため貨幣の価値は相対的に高まりますが、一方で企業の売上減少や在庫の増加を招きます。その結果、労働者の賃金が下がったり失業者が増えたりして消費がさらに落ち込む「デフレスパイラル」という悪循環に陥るリスクがあります。この不況を打開するため、日本銀行は公開市場操作によって市場に資金を供給し、通貨量を増やす金融緩和政策をとるのが一般的です。
問4	答え 2 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること	日本銀行が世の中に供給する通貨の量（マネタリーベース）を増やすと、民間銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、経済活動が刺激されます。この政策は、物価が継続的に下落して景気が停滞する「デフレーション」という状態から抜け出すことを最大の目的としています。通貨供給量を増やして金利を下げることで、消費や投資を促し、物価を適度に上昇させるサイクルを作ろうとしています。
問5	答え 4 政府が公共事業を拡大し、日本銀行が買いオペレーションを行って市場の通貨量を増やす。	不景気の局面では、政府は公共事業を増やすことで仕事を創出し、景気を下支えしようとしています。同時に日本銀行は、民間金融機関から国債などを買い入れる「買いオペレーション」を実施し、市場に出回る通貨量を増やすことで、金利を下げて企業の投資や個人の消費を促します。
問6	答え 1 金融政策	日本銀行は中央銀行として、通貨の価値を安定させ、経済が健全に発展するように景気を調節する役割を担っています。この活動を「金融政策」といいます。具体的には、公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）などの手段を用いて、世の中の通貨量を調整します。これに対し、政府が税金や公共事業の予算を通じて景気を調整することは「財政政策」と呼ばれ、日本銀行の役割とは区別されます。
問7	答え 1 価値の保存	魚や野菜などの現物は時間の経過とともに劣化し価値が失われてしましますが、貨幣は腐食したり消滅したりしにくいので、長期間にわたってその価値を持続させることができます。この性質によって、将来の消費のために富を蓄える「貯蓄」が可能になります。他の選択肢について、価格として価値を測るのが「価値の尺度」、商品の売買を仲立ちするのが「交換の手段」です。
問8	答え 3 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。	景気が過熱しているとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売却し、その代金として市場から資金を回収します。これにより、世の中に出回る通貨の量（資金量）が減少するため、資金の希少価値が上がり、金利が上昇します。金利が上がると、企業や個人が銀行からお金を借りにくくなるため、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の上昇を食い止めることができます。
問9	答え 3 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。	物ブツ交換の世界では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しません。しかし、貨幣が「交換の媒介」となることで、誰もが貨幣を受け入れ、それを次に自分が欲しいものの購入に充てることができるようになります。この仕組みによって分業が発達し、現代の複雑な経済社会が成り立っています。
問10	答え 2 日本銀行券を独占的に発行し、景気の状態に合わせて世の中に出回る通貨の量を調整することで、物価の安定を図る。	日本銀行が「発券銀行」として紙幣の発行を独占しているのは、通貨の価値を安定させるためです。複数の銀行が自由に紙幣を発行すると、流通量のコントロールが困難になり、激しいインフレやデフレを招く恐れがあります。日本銀行は、景気が悪いときにはお金を多く流通させ、景気が過熱しているときには抑えるといった調整を行うことで、国民生活の基盤となる物価の安定を目指しています。
問11	答え 2 株式は返済の義務がない資金であり、社債はあらかじめ決められた期限に元本を返済し利子を支払う必要がある資金である。	直接金融において、株式は企業が「自己資本」として調達するものであり、原則として返済の義務はありません。その代わりに投資家には配当や議決権が与えられます。一方で社債は企業が発行する債券であり、投資家にとっては貸付金のような性質を持つため、企業は満期時に元本を返済し、一定の利子を支払う義務を負います。
問12	答え 4 直接金融	企業が資金を調達する方法には、大きく分けて2つの形態があります。証券市場などを通じて、企業が自ら発行した株式や社債を投資家に買ってもらうことで資金を得る方法が直接金融です。これに対し、銀行などの金融機関が仲介役となり、家計から預かったお金を企業に貸し出す方法は間接金融と呼ばれます。
問13	答え 4 円安の状態であり、日本の自動車メーカーなどの輸出企業にとって有利に働く	1ドルの交換に必要な日本円が100円から110円に増えることは、円の価値が相対的に下がることを意味するため「円安」と呼ばれます。円安の状況下では、海外市場での日本製品の販売価格を安く抑えることができるため、輸産業の利益が増えやすくなります。

- 問1 銀行を通じたお金の流れにおいて、銀行が家計などから「預金」を受け取り、それを別の企業への「貸し出し金」に充てる仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 各個人が所有する余剰資金を、インターネット上のプラットフォームを通じて個人間で直接貸し借りする仕組み。 | 2. 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。 | 3. 日本銀行が政府の銀行として、税金を預かり公共事業の資金を貸し出す仕組み。 | 4. 企業が株式や社債を発行し、家計から直接資金を調達して事業を行う仕組み。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由として、その具体的な業務の説明として適切なものを選んでください。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 銀行の窓口で市民が預け入れた預金の全額を、日本銀行が常に保管しているため | 2. 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため | 3. 国内のすべての銀行の支店配置や営業時間を決定する権限を持っているため | 4. 民間銀行が経営難に陥った際、その銀行の株主となって経営を完全に代行するため |
|---|--|---------------------------------------|--|
- 問3 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションを抑えるため、日本銀行が行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--|
| 1. 日本銀行が民間金融機関から国債を買い取り、市場に出回る通貨の量を増やす。 | 2. 日本政府が所得税や法人税を増税し、公共投資を縮小させることで景気を抑制する。 | 3. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。 | 4. 日本銀行が政策金利を引き下げ、企業が資金を借りやすくなることで生産を促す。 |
|---|---|---------------------------------------|--|
- 問4 日本では、2024年度から北里柴三郎の肖像が描かれた新しい千円札などの紙幣が導入されました。これらの「日本銀行券」を国内で唯一発行することができる、日本銀行が持つ役割を何といいますか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 政府の銀行 | 2. 普通銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問5 日本銀行は、一般の銀行に対して資金の貸し出しや国債の売買を行うことから「銀行の銀行」と呼ばれます。この役割に関連して、日本銀行が景気や物価の安定を図るために行う、一般の銀行との間での国債の売買などを通じた通貨量の調節を何と呼びますか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------|-----------------|------------|
| 1. 公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション） | 2. 預金準備率操作 | 3. 直接税と間接税の比率調整 | 4. 財政投融资計画 |
|-------------------------------|------------|-----------------|------------|
- 問6 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由を、その仕組みから説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 全国の銀行の経営方針を決定し、銀行員の人事権を掌握しているため。 | 2. 民間の金融機関のみを取り相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。 | 3. 世界中の主要な銀行に資金を提供し、国際的な通貨価値を統一するため。 | 4. 政府の指示に基づいて、すべての銀行の支店設置場所を決定するため。 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 政府が実施する財政政策のうち、不況の時期に有効需要を創出し、景気を下支えすることを目的として行われる施策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 日本銀行から国債を買い取り、通貨の流通量を直接減少させる。 | 2. 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。 | 3. 社会保障制度を廃止し、政府による財政支出をゼロにする。 | 4. 公共事業への支出を抑制し、あわせて増税を実施する。 |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問8 不況の際、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション」の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 政府が所得税の増税を行い、景気の過熱を抑制する | 2. 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす | 3. 日本銀行が一般の銀行に国債などを売却し、世の中に出回る通貨量を減らす | 4. 政府が公共事業への支出を増やし、社会全体の景気を刺激する |
|----------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------|
- 問9 2020年の日本の通貨の構成を示す統計において、紙幣や硬貨といった「現金」が占める割合は全体の11.8%にとどまっています。この現金以外の約88%を占め、銀行などの金融機関に預けられ、いつでも支払いに活用できる性質を持つ通貨を何といいますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 公債 | 2. 預金 | 3. 外国為替 | 4. 株式 |
|-------|-------|---------|-------|
- 問10 日本銀行が一般の銀行に対して国債などを売却する「売りオペレーション」を実施した際、その後の社会経済に与える影響として最も適切な仕組みはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 市場の通貨量が増えることで人々の購買意欲が高まり、デフレーションからの脱却が促進される。 | 2. 銀行の資金が増えて金利が下がるため、企業が資金を借りやすくなり、景気が刺激される。 | 3. 政府が公共事業を増やすための資金が確保され、有効需要が創出されることで失業者が減少する。 | 4. 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。 |
|---|--|---|---|
- 問11 日本銀行が「買いオペレーション」を行い、一般の金融機関が保有する通貨の量が増えた場合、その後の経済にどのような影響を与えると期待されていますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 預金金利が上昇して国民の預金意欲が高まるため、銀行に蓄えられる資金がさらに増え、経済が安定する。 | 2. 政府が発行する国債の利子が高まり、国民が国債を購入しやすくなることで、国の借金が速やかに返済される。 | 3. 通貨の価値が上がり、物価が下落することで、消費者が少ないお金で多くの商品を購入できるようになる。 | 4. 金融機関の資金に余裕ができるため、金利（利子率）が下がり、企業が設備投資のための資金を借りやすくなる。 |
|---|---|---|--|
- 問12 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために「買いオペレーション」という金融政策を行うことがあります。この政策の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が政府から直接国債を買い入れることで、政府の公共事業費を増やし、雇用の創出を図る。 | 2. 日本銀行が民間金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金を増やし、消費を促す。 | 3. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却することで、市場から通貨を回収し、金利を上げて物価の安定を図る。 | 4. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げて経済活動を活発にする。 |
|--|---|--|--|
- 問13 外国為替相場において、1ドル＝138円から1ドル＝148円へと円の他国通貨に対する価値が変動した際、日本の経済に与える影響として最も適切な説明を選択してください。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本国内の消費者が海外旅行に行く際の航空券代や滞在費が安くなり、海外旅行が容易になる。 | 2. 一ドルを交換するために必要な円が少なくて済むようになるため、輸入企業の支払負担が軽減される | 3. 日本から海外へ輸出する製品の現地での価格が上昇するため、輸出産業にとって不利に働く。 | 4. 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。	銀行が預金として集めた資金を自らの判断で貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその責任において企業などへ貸し出しを行うため、預金者と借り手の間に直接的な契約関係はありません。これに対し、株式や債券などを通じて資金を調達する仕組みは「直接金融」と呼ばれ、区別されます。
問2	答え 2 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため	日本銀行は私たち一般の個人や企業とは取引を行わず、民間の銀行（市中銀行）などの金融機関を相手に取引を行います。具体的には、民間銀行に対して資金を貸し出したり、民間銀行が持っている余剰資金を日本銀行の当座預金として受け入れたりします。このため、銀行のための銀行という意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。この仕組みを利用して、景気の状態に応じて通貨の流通量を調節する金融政策が行われます。
問3	答え 3 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。	景気が過熱している際、日本銀行は中央銀行として通貨の流通量を調整する役割を担います。日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却すると、その代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ吸い上げられます。これにより市場を流通する通貨量が減少し、銀行の貸出金利が上昇するため、企業の設備投資や個人の消費が抑えられて景気が沈静化します。この一連の操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問4	答え 3 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券」を発行する権限を持つ中央銀行です。この役割を「発券銀行」と呼び、私たちが普段使用している一万円札、五千円札、千円札などの紙幣を供給しています。一方、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府が発行しています。
問5	答え 1 公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）	日本銀行が一般の銀行との間で国債などを売買することにより、市場に流通する通貨（マネーストック）の量を増やしたり減らしたりする仕組みを公開市場操作といいます。これは「銀行の銀行」という立場を利用した代表的な金融政策であり、景気が悪いときには国債を買い入れて市場に資金を供給し、景気が過熱しているときには国債を売って市場の資金を吸収することで、物価と経済の安定を図っています。
問6	答え 2 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。	日本銀行は、私たち一般の個人や民間企業との取引は行いません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「民間の金融機関」を相手に、資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このように、銀行にとっての「銀行」のような役割を果たしていることから、この名称で呼ばれます。これにより、金融市場全体の資金供給量をコントロールしています。
問7	答え 2 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。	政府が予算を通じて景気を調整することを財政政策といいます。不況時には、道路やダム建設といった公共事業を増やすことで仕事や雇用を生み出すとともに、減税を行って家計が自由に使えるお金を増やすことで、社会全体の消費や投資（有効需要）を刺激する仕組みになっています。
問8	答え 2 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす	景気が悪いとき、日本銀行は世の中にお金を流通させて経済を活性化させる必要があります。そこで、日本銀行が一般の銀行が持っている国債を買い、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せるお金（通貨量）を増やす政策をとります。これを「買いオペレーション」と呼びます。選択肢にある「売却して通貨量を減らす」のは、景気が良すぎるに行われる「売りオペレーション」です。また、公共事業や増税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問9	答え 2 預金	現代の経済における「通貨」は、手元にある紙幣や硬貨（現金）だけを指すわけではありません。銀行などの金融機関に預けられているお金は、振り込みやキャッシュレス決済などを通じて、現金を使わずに代金を支払う手段として機能します。そのため、日本の通貨供給量の大部分は、この形式の通貨によって構成されています。
問10	答え 4 銀行の資金が減って金利が上がるため、企業が資金を借りにくくなり、景気の過熱が抑えられる。	売りオペレーションによって民間銀行が持つ資金が減少すると、資金の貸し借りの際の価格である「金利（利子）」が上昇します。金利が上がると、企業は利息負担を嫌って設備投資などのための借り入れを控えるようになります。この一連の流れにより、社会全体の経済活動のスピードが緩やかになり、物価の急激な上昇が抑えられます。
問11	答え 4 金融機関の資金に余裕ができるため、金利（利子率）が下がり、企業が設備投資のための資金を借りやすくなる。	買いオペレーションによって金融機関が保有する資金が増えると、資金の貸し手が多くなるため、市場の金利（利子率）が低下します。金利が下がると、企業は安い利息で資金を借りられるようになるため、工場の建設や機械の購入といった設備投資が活発になり、景気を向上させる効果が期待できます。
問12	答え 4 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げた経済活動を活発にする。	不景気のとき、日本銀行は市場の通貨（お金）の量を増やして景気を向上させようとします。日本銀行が民間金融機関の持っている国債を買い取ることで、その代金が民間金融機関に支払われ、社会全体に出回る通貨量が増加します。その結果、資金の借り入れが容易になり、金利が低下することで企業の設備投資や個人の消費が促進されます。この一連の操作を買いオペレーションと呼びます。
問13	答え 4 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。	外国為替相場において1ドルあたりの円の数値が大きくなることは、円の価値が下がる「円安」を意味します。円安になると、海外の製品を輸入する際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格が上昇します。日本はエネルギー資源や食料品の多くを輸入に頼っているため、円安は国内の物価上昇（コストプッシュ・インフレ）を招く直接的な原因となります。

問1 かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。

(2023年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。 | 2. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。 | 3. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。 | 4. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。 |
|--|--|--|---|

問2 家計などの余剰資金を銀行が預かり、それを企業などの資金不足の主体に貸し出す「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定している理由として、最もふさわしい背景はどれですか。

(2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本銀行による金融政策により、すべての銀行の預金利子率を貸し出し利子率より下げることが法律で強制されているため。 | 2. 不景気の際に、企業が資金を借りやすくするために、預金者から徴収した手数料を利子補填に回しているため。 | 3. 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。 | 4. 預金者が銀行に資金を預けること自体が投資であり、元本保証の対価として利子を低く抑える契約が一般的だから。 |
|---|---|--|---|

問3 2024年度から導入された新しい一万円札のデザインにおいて、肖像として描かれている人物は誰ですか。この人物は、第一国立銀行の設立に関わったことなどから「日本資本主義の父」と呼ばれています。

(2020年 鳥根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 津田梅子 | 2. 渋沢栄一 | 3. 福沢諭吉 | 4. 北里柴三郎 |
|---------|---------|---------|----------|

問4 不景気の際に、日本銀行が景気を刺激して回復を図るために行う「公開市場操作」について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせを選びなさい。「日本銀行が民間の銀行から国債を（①）ことで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げて企業が資金を借りやすくする。この操作を（②）という。」

(2019年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------|---------------------|------------------------|------------------------|
| 1. ①：買い入れ
②：買いオペレーション | 2. ①：売却
②：公定歩合操作 | 3. ①：買い入れ
②：預金準備率操作 | 4. ①：売却
②：売りオペレーション |
|--------------------------|---------------------|------------------------|------------------------|

問5 日本銀行が公開市場操作によって民間銀行から国債を買い取り、市場に流通する通貨量を「増やす」操作を行った場合、その後の金利の変化と経済への影響について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。

(2024年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 利子率（金利）が上がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。 | 2. 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。 | 3. 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が抑制される。 | 4. 利子率（金利）が上がり、企業の設備投資や個人の消費が抑制される。 |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問6 景気が後退している不景気の際、政府が実施する財政政策と、日本銀行が実施する金融政策の組み合わせとして最も適切な説明はどれですか。

(2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。 | 2. 政府が公共投資を増やして雇用を安定させ、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで金利の上昇を促す。 | 3. 政府が所得税や消費税の増税を行って消費を抑制し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。 | 4. 政府が公共投資を減らして財政支出を抑え、日本銀行が民間銀行に国債を売却することで市場の通貨量を減らす。 |
|---|--|---|--|

問7 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。

(2025年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。 | 2. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。 | 3. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。 | 4. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。 |
|--|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|

問8 現代の経済において「直接金融」が重視される背景として、その仕組みの性質を説明したもののとして最も適切なものはどれですか。

(2022年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本銀行が景気調整のために、市中の金融機関に対して資金を貸し出す際の金利を操作する仕組みであること。 | 2. 企業が返済不要な資金を銀行から無利子で借り入れることで、経営の安定を図る仕組みであること。 | 3. 銀行が倒産した場合でも、預金保険機構によって一定額の資金が確実に保護される仕組みであること。 | 4. 投資家が企業の将来性や事業内容を直接判断し、自己責任でリスクを取って資金を供給する仕組みであること。 |
|---|--|---|---|

問9 日本において、紙幣の発行や一般の銀行への資金の貸し出しを行うほか、政府の資金の出し入れを行う「政府の銀行」としての役割を持つ金融機関はどれか。

(2018年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 1. 市中銀行 | 2. 日本政策金融公庫 | 3. 日本銀行 | 4. 世界銀行 |
|---------|-------------|---------|---------|

問10 日本銀行が紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する役割を、何と呼びますか。最も適切なものを1つ選びなさい。

(2025年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 市中銀行 | 2. 発券銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|

問11 日本銀行が買いオペレーションを実施した際、市場における資金の流れや経済への影響として正しいものはどれですか。

(2024年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が公共料金の価格を直接操作することで、消費者の購買力を高め、デフレを解消する。 | 2. 政府が所得税や消費税を増税することで、市場の通貨量を減らし、景気の過熱を抑制する。 | 3. 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。 | 4. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却することで、市場の通貨を回収し、物価の上昇を抑える。 |
|--|--|---|--|

問12 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。

(2020年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 発券銀行 | 2. 市中銀行 | 3. 銀行の銀行 | 4. 政府の銀行 |
|---------|---------|----------|----------|

問13 銀行などの金融機関に自分のお金を預け入れた際、その対価として預金者が金融機関から受け取ることができる報酬を何といいますか。

(2016年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 為替 | 2. 配当 | 3. 売却益 | 4. 利子 |
|-------|-------|--------|-------|

問14 企業や家計が銀行などの金融機関から資金を借り入れた際、借りた金額である「元金」の返済に加えて、資金を利用した対価として支払わなければならないものを何といいますか。

(2020年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 配当 | 2. 税金 | 3. 利子 | 4. 賃金 |
|-------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しいがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品を貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問2	答え 3 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。	銀行は金融仲介機関として、多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業などに大口で貸し出します。銀行が健全に経営を続け、店舗の維持や従業員の給与、システムの管理を行うためには、収益を上げる必要があります。貸し出した際の利息収入が、預金者に支払う利息を上回るように設定することで、その差額が銀行の経費や利益を支える原資となります。
問3	答え 2 渋沢栄一	2024年度に刷新された日本銀行券の一万円札には、渋沢栄一の肖像が採用されました。渋沢栄一は明治時代から大正時代にかけて、日本初の銀行である第一国立銀行の設立を主導し、500以上の企業の創設に関わった実業家です。紙幣の刷新は、偽造防止技術の向上などを目的に定期的に行われています。
問4	答え 1 ①：買い入れ ②：買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する政策を公開市場操作といいます。景気が悪いときには、日本銀行が銀行の持つ国債を買い取ることで、その代金が民間銀行へと渡り、世の中に出回る通貨（マネースtock）が増加します。これにより、資金の供給が需要を上回って金利が低下し、企業が設備投資などのための資金を借りやすくなることで景気を刺激します。
問5	答え 2 利子率（金利）が下がり、企業の設備投資や個人の消費が促される。	市場に流通する通貨の量が増えると、お金の希少価値が下がるため、銀行が資金を貸し出す際の利子率（金利）は低下します。金利が下がれば、企業は事業拡大のための資金を借りやすくなり、個人もローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が活発になり、景気が上向くことが期待されます。
問6	答え 1 政府が公共投資を増やして仕事や需要を創出し、日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やす。	不景気のときは民間企業の活動や家庭の消費が落ち込むため、政府は公共事業を増やす財政政策によって直接的な需要を生み出し、景気の下支えを図ります。これに合わせ、中央銀行である日本銀行は民間銀行から国債を買い入れる「買いオペレーション」を行い、代金として現金を供給することで市場の通貨量を増やし、金利を下げて企業が資金を借りやすくなる金融政策を実施します。
問7	答え 1 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。	不況時に日本銀行が国債を買い入れると、代金が市中の金融機関に支払われることで通貨量が増加します。これにより金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、投資や消費が促されて景気が回復へと向かいます。
問8	答え 4 投資家が企業の将来性や事業内容を直接判断し、自己責任でリスクを取って資金を供給する仕組みであること。	間接金融では銀行が貸し出しの判断とリスクを負いますが、直接金融では投資家が企業の成長性などを自ら評価して投資先を決定します。これにより、革新的な技術を持つ新しい企業などに資金が流れやすくなるという利点があります。ただし、投資した企業が倒産した場合には投資額が回収できなくなるリスクも、投資家が直接負うことになります。
問9	答え 3 日本銀行	日本銀行はわが国の中央銀行であり、「発券銀行」「政府の銀行」「銀行の銀行」という3つの主要な役割を担っている。これに対し、市中銀行は企業や個人と取引を行う一般の銀行を指し、世界銀行は発展途上国の開発支援などを行う国際機関である。
問10	答え 2 発券銀行	日本銀行は、紙幣（日本銀行券）を発行する唯一の機関であり、この役割は「発券銀行」と呼ばれます。また、国の公金を管理する「政府の銀行」、民間金融機関とお金をやり取りする「銀行の銀行」としての役割も持っています。
問11	答え 3 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。	買いオペレーションによって日本銀行から民間金融機関へ資金が流れると、市場全体に出回る通貨の量が増加します。資金の供給が需要を上回る形になるため、資金を借りる際のコストである金利（利子率）が低下します。これにより、企業が設備投資のための資金を借りやすくなり、景気を上向かせる効果が期待されます。
問12	答え 3 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借り入れをしたりする場所ではなく、民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。これにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。
問13	答え 4 利子	銀行は預金者から集めたお金を、資金を必要とする企業や個人に貸し出しています。銀行は貸し出した相手から手数料を受け取っており、その一部を預金者に「お金を貸してくれた（預けてくれた）ことへの対価」として還元します。これを利子（または利息）と呼びます。
問14	答え 3 利子	金融機関から資金を借りる際、借りた本人は元金を返すだけでなく、その利用料として一定の金額を上乗せして支払う必要があります。これを利子（または利息）と呼びます。これに対し、企業が利益を株主に分配するものは配当、労働の対価は賃金、公共サービスの費用として国などに納めるものは税金であり、区別が必要です。